

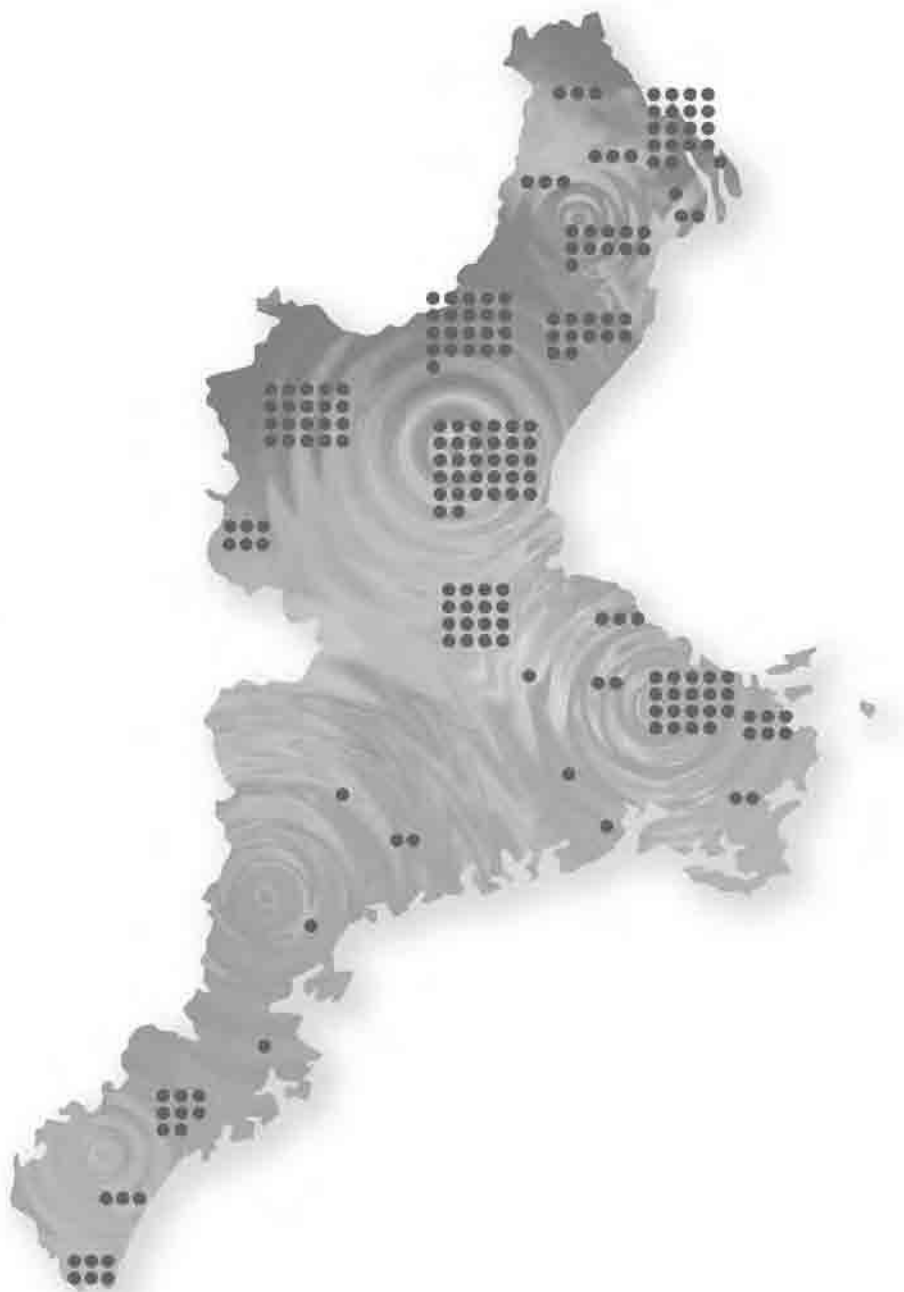
ひろげる
つなぐ
かえる

市民活動・ ボランティア ニュース

2010
4

発行 / みえ県民交流センター指定管理者
みえNPOセンター・ワークスコープ
514-0009 津市羽所町 700 番地アスト津 3 階
Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net
ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

2010年3月25日発行
通巻136号



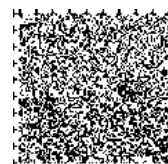
三重県内の市民活動・ボランティア団体の分布をイメージしたものです。
【出典:当センターHP Mなび】

初心に帰って

年度が変わった。

去年の今頃は県民サービスセンターの指定管理者としてスタートを切ったのだった。緊張と不安と、そして期待があった。しかし、一年がたってほっとするところもあるが、民間委託という意味をかみしめる。いわく「直営よりよいサービス」、「民間の良さを発揮」等々。私たちはお役所ではない、NPOだ。NPOだからできることをしたいと思ってきた。委託主の下請けではない「民間の良さを発揮して」、これからも初心に帰って取り組んでいきたい。

右の様子は SP コードと呼ばれる
バーコードで、専用の読取機で
音声聞くことができます。



三重県NPOグループからお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体

認証申請団体

●認証申請団体(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地

(1)のってこらい(2)嶋口祥治(3)熊野市五郷町桃崎618番地

(1)ファームランド鈴鹿(2)森下 晃(3)鈴鹿市算所2丁目6番17号

(1)きずな(2)齋藤和弘(3)四日市市塩浜171番地1

(平成22年2月10日～平成22年3月9日申請分)

成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

なし

(平成22年2月10日～平成22年3月9日届出分)

NPO支援機能強化事業の企画提案を募集します

NPOが、地域づくりの担い手として、また、社会サービスの提供者として継続して活動していくためには、相談対応・コンサルティング、資源(人材・資金・情報など)の発掘や仲介、多様な主体間のネットワークづくり、行政等への政策提言などの支援が必要となります。

このようなNPO支援を行おうとする団体が、自らのNPO支援機能の強化を図るための企画提案を募集します。4月上旬に募集説明会を開催します。詳しくは、下記までお問合せください。

1 募集期間／平成22年3月25日から平成22年4月28日

2 募集説明会／平成22年4月5日から4月9日の間に県内5箇所で開催予定

3 第1次審査／平成22年5月11日

4 第2次審査／平成22年5月17日

5 選定件数／5件程度(1件当たり4200千円)

6 契約期間／平成22年6月1日から平成23年3月31日(予定)

7 問い合わせ先／三重県生活・文化部 男女共同参画・NPO室
NPOグループ Tel.059-222-5981

Fax.059-222-5984 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

NPOと県の「協働ワークショップ」提案募集

NPOが日頃の活動を通して感じている課題を、県と一緒に話し合い、双方が認識を深めて、今後の活動に生かしていくことをめざす「協働ワークショップ」の検討テーマを募集します。

●対象／県内で民間・非営利活動を1年以上行っている団体

●応募期間／平成22年4月5日(月)から5月28日(金)まで(当日消印有効)

応募方法など、詳しくはお問い合わせください。

●問い合わせ先／三重県生活・文化部 男女共同参画・NPO室
NPOグループ Tel.059-222-5981

Fax.059-222-5984 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

ホームページ <http://www.pref.mie.jp/NPO/>

みえ市民活動ボランティアセンターからお知らせ

NPO無料よろず相談

毎回二団体先着順のため、相談日の一週間前までにお申し込みください。

●とき／毎月第一火曜日(祝祭日の場合は翌日)

(1)10:00～11:00 (2)11:00～12:00

【今後の予定:4月6日、5月11日、6月1日、7月6日】

●ところ／アスト津3階(津駅東口隣接ビル)

みえ県民交流センター

●相談員／みえ県民交流センター指定管理者 みえNPOセンター・ワーカーズコープ グループ代表 みえNPOセンター代表理事、同事務局長

●対象／NPO法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心がある市民など。

中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか?～

中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。参加は無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

【交流会 ※隔月】●とき／5月13日(木)13:30～16:30

みえNPOセンター・ワーカーズコープ

問い合わせ先 Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971

E-mail center@mienpo.net

三重県で初の「認定NPO法人」が認定される。

(特活)三重いのちの電話協会が三重県で初めて「認定NPO法人」に認定されました(平成22年2月23日)。

※認定NPO法人とは…特定非営利活動法人(NPO法人)の活動を支援するために平成13年度から始められた制度で、個人や法人が認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)に寄付をする場合、税制上の優遇措置が受けられる。

イベントスケジュール

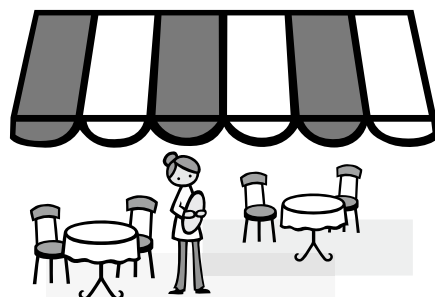
ついに完成!「ぴのまちカフェ」が日野町に!!

●とき／【プレオープン】3月29日(月)予定

●ところ／松阪市日野町788 カリヨンプラザ1階

●内容／待望のコミュニティカフェが松阪にOPEN! アナタの遊び場でもある「ぴのまちカフェ」の遊び方、開店日時、無料プレゼントなど、すべての情報は、ホームページをご覧ください。
<http://www.pinomachi.com>

●問い合わせ先／(特活)Mブリッジ(ぴのまち担当)
Tel.0598-23-8400



【気分障害の自助グループ—Salon de “TRUE BEAUTY”—の事業】

スキルアップ講座

こころの病について学んでみませんか?

●とき／4月1日(木)13:00～14:00

●ところ／白子商店街イベントショップ(鈴鹿市白子駅前)

●参加費／3150円

●内容／メンタル疾患の理解と心の病についての知識を深めましょう。心の病を克服するには病気の事をよく知る必要があります。最近はメディアでうつ病や、自殺について取り上げるようになりましたが、まだまだメンタル疾患への誤解や偏見は根強いものです。これからは予防も考えなくてはなりません。積極的な心身の健康とは何か、一緒に勉強していきましょう。一番のセラピストは自分です。自分で選び、自分と向き合うことで、心と体のバランスを取り戻すのです。

●持ち物／筆記用具、飲み物

●応募締切／3月30日(火)要予約

桑名北ロータリークラブの地域貢献活動の現場から

「明日の桑名のために〜できることから始めよう〜」と題し、2月14日に桑名市民会館において「野口健講演会 in 桑名」と同時開催された市民活動団体交流会を取材いたしました。

今回お話を伺った桑名北ロータリークラブの小笠原会長は、みえきた市民活動センター「まちのファンクラブ」の世話人代表というお立場です。同じくロータリークラブの伊藤環境保全委員長と共に、桑名が良くなるよう、広く社会に喚起したいと、環境をテーマに「野口健講演会 in 桑名」を企画されました。

同時に市民活動団体を巻きこんだイベントにしたいと、実行委員会を結成し、桑名地区全体に協力を呼びかけ、交流会を開催することになったそうです。

奉仕活動を基本としているクラブメンバーは企業人であり、社会的責任を理解しておられます。今回の企画には、大きな目的や思いが詰まっていて、できるだけ多くの人に関わっても

らうことで、参加型交流会・講演会を目指されました。会長から「市民の力はすごいですよ」と力のかもった言葉が返ってきました。

桑名市民の半数は代々桑名ゆかりの人びとであり、伝統文化に裏打ちされた豊かな土地柄です。経済危機の影響も比較的少なく、とても住みやすい町という、桑名に対する熱い思いが伝わってきました。

また、「金星堂」社長である小笠原会長は、キャリア教育のためのインターンシップに長年尽力され、他の事業所と共に、近頃三重県教育委員会より感謝状を授与されました。大手企業だけでなく地元の企業を知ってもらい、青少年育成の一環として地域子どもたちが職業への感覚を磨く機会にしたいと意欲的に話されました。

こうした日ごろの思いが結実し、市民活動交流会には39団体が参加し活発な意見交換がなされました。午後に行われた「野口健講演会」には千名にのぼる方々が参加され、34団体が出展したブースもたいそうな賑わいであった事を報告させていただきます。



Salon de "TRUE BEAUTY"

●とき・ところ／【桑名】4月9日(金)14:00～15:30

(毎月第2金曜) 桑名市福祉総合会館 1階 小会議室

【四日市】4月9日(金)18:30～20:00

(毎月第2金曜) 四日市市総合会館 3階 技能訓練室

【鈴鹿】4月16日(金)14:00～15:30

鈴鹿市社会福祉協議会 小会議室

●参加費／各500円

●内容／ひとりで悩んでいませんか？あなたの悩みや問題をグループで語り合い、分かり合いませんか？今ある悩みを話してみませんか？あなたの参加をお待ちしております。

●申込・問い合わせ先／気分障害の自助グループ Salon de "TRUE BEAUTY" (代表:河西恭子)

Tel.090-1750-6245(受付時間平日 10:00～20:00)

命の声を聴く「自己尊重トレーニング」

●とき／4月20日、5月25日、6月22日(すべて火曜)

10:15受付 10:30～12:30

●ところ／四日市まんなか子ども劇場

●参加費／会員300円、一般500円

託児は1人500円。2人目から250円

●内容／自分を愛し、人を愛するために自己尊重感を高めましょう。対象は子育て中のお母さんです。

●持ち物／バスタオル、動きやすい服装(ズボン)

●募集人数／要予約、定員8人

●申込・問い合わせ先／四日市まんなか子ども劇場

四日市市西町 15-16 Tel.& Fax.059-351-6670



【お気軽・昼下がりセミナー】

～私が元気になる、街も元気になる～

「コミュニティカフェって、ダレのもの？」

●とき／4月26日(月)13:30～15:30

●ところ／ぴのまちカフェ(松阪市日野町788 カリヨンプラザ1階)

●参加費／事前申込の方、無料。当日来場の方1000円

●内容／「コミュニティカフェは、みんなのもの」です。

「一般的なカフェ」と「コミュニティカフェ」の違いを知ると、その楽しみ方や関わり方が解りそうですね！

滋賀でコミュニティカフェを成功させ、行政とともに「コミュニティカフェ開業講座」なども実施する小川泰江さんをお招きし、みんなが企画し、運営することの楽しさや魅力をお話しいたします。

どなたでもご参加いただけますが、特に次のような方にオススメです。気軽に集えるカフェを探している方。カフェの運営に興味のある方。街を活性化させたい行政や商店街の方。会場の「ぴのまちカフェ」を使って何かをしたい方。

●応募締切／4月21日(水)午前中

●申込方法／「4.26セミナー参加希望」の件名で、氏名、年齢、性別、職業、住所、Telの6点を下記までパソコンか携帯のメールでご連絡ください。

●問い合わせ先／コミュニティカフェ「ぴのまちカフェ」

(担当:米山) E-mail yoneyama@ma.mctv.ne.jp

ホームページ <http://www.pinomachi.com>



よびかけ・報告

～正義の企画サロン～

いちりゅうまんばい

「一粒万倍・アゴラCafe」運営ボランティア募集!!

「魅力的なアイデアを出す」。得意ですか? 苦手ですか?

いい企画を出せるようになる“最短の近道”があります。

それは「アイデア豊富な人と交流する」だけ!

もし苦手ならば、いい交流に出向くことをオススメします。

アイデアはNPO活動にもビジネスにも欠かせない力です。

参加するだけで企画力が上がる「アゴラCafe」がまもなくスタートします。その初代運営ボランティアの募集を開始しました。まずは、説明会にご参加ください。ボランティアになるかどうかは、説明会後にお決めいただければ結構です。ゆるやかな説明会ですので、気軽な気持ちでお越しくださいね。

●とき/4月20日(火)

【昼の部】14:00～15:00 【夜の部】19:00～20:00

※昼と夜は同じ内容です。

●ところ/ぴのまちカフェ(松阪市日野町788 カリヨンプラザ1階)

●対象/年齢・性別は問いませんが、次の方に限ります。

他人の悪口を言わない人・考え方が前向きな人

●ボランティア内容/様々な内容がありますので、お好みの内容をお手伝いいただければ結構です。

・広報部門...チラシ制作、チラシ配布、IT 広報など

・運営部門...当日の運営サポートなど

●ボランティアの特典/実際に開催されるサロンに無料参加

●応募締切/4月19日(月)午前中

●申込方法/要事前申込。「アゴラCafe ボラ説明会希望」の件名で、氏名、年齢、性別、職業、住所、Tel、昼か夜かの7点を下記までパソコンか携帯のメールでご連絡ください。

●問い合わせ先/アゴラCafe(副支配人:米山)

Tel.090-3385-6958 E-mail yoneyama@ma.mctv.ne.jp

ボランティアスタッフ大募集

まちづくり団体(特活)三重ドリームクラブでは私たちと一緒に活動してくれるボランティアスタッフを募集しています。手作り甲冑とゆる(R)キャラで地域のイベントや祭りに出演してまちづくりにつながる活動をしています。土日祝祭日を中心に主に県内、東海地区に年間約50日程活動しています。年代も20～70代まで幅広くワイワイ、ガヤガヤと楽しく活動しています。伝統祭りや甲冑、ゆる(R)キャラが好きな方、私たちと一緒に楽しんでボランティアをしませんか?

●申込・問い合わせ先/(特活)三重ドリームクラブ(担当:加藤)

Tel.059-271-9978 E-mail qzo1341004@yahoo.co.jp



助成金 情報

2010年全労済地域貢献助成事業

●受付締切/4月5日(月)消印有効

●助成の対象となる団体/日本国内を主たる活動の場とするNPO法人、任意団体等(NGO、ボランティア団体等)で、設立後

1年以上(基準日:平成22年4月5日)の活動実績を有し、直近の年間収入(前年度の繰越金を除く)が300万円以下の団体。

●助成の対象となる活動/【1.環境分野】

(1)地域の自然環境を守る活動

(2)循環型地域社会をつくるための活動

(3)地域の自然や環境の大切さを学ぶための活動

地域の自然や環境の大切さを学ぶための活動。

【2.子ども分野】地域の中で、学校外の多様な育ちを応援する次のような活動

(1)子どもたちの豊かな遊びの場をつくる活動

(2)子どもたちが交流し学びあえる場をつくる活動

※ 子ども自身が主体的に参画して取り組む活動を重視します。

●対象事業の期間/平成22年9月1日～平成23年8月31日

●助成の額/助成総額は環境分野1000万円、子ども分野1000万円の総額2000万円(上限)を予定。1団体に対する上限は30万円。

●応募方法/応募要項はホームページよりダウンロードするか、以下までE-mailまたはFaxで請求。

●問い合わせ先/全労済 経営企画部内 地域貢献助成事業事務局(担当:数野) 151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10 Tel.03-3299-0161 Fax.03-5371-2685(平日10:00～17:00 土日祝除く) E-mail 90_eco@zenrosai.coop ホームページ <http://www.zenrosai.coop/eco>

平成22年度「水辺を活かす」活動助成

●受付締切/4月19日(月)必着

●助成の対象となる団体/市民団体、学校等の非営利団体。

●助成の対象となる活動/(1)河川・海岸等の水辺や、水辺に関わる地域をフィールドとして行う自然体験や環境教育等の活動 (2)河川・海岸等に関係するセミナーやスクールの実施、情報の提供、水辺を活かしたまちづくりに資する検討・啓発等の諸活動など等の活動。

●対象事業の期間/平成22年4月20日(火)～平成23年1月31日(月)

●助成の額/1活動あたり上限10万円。25件程度。

●応募方法/応募様式はホームページからダウンロード。ホームページに掲載するエクセルデータでの申請に限り、E-mailにて申請可能。その他の場合は郵送。

●問い合わせ先/(財)リバーフロント整備センター企画グループ「水辺を活かす」活動助成事業事務局 104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号ロフター中央ビル Tel.03-6228-3860 Fax.03-3523-0640

E-mail mizubei-j@rfc.or.jp

ホームページ <http://www.rfc.or.jp/>

平成22年度損保ジャパン記念財団 社会福祉助成 —社会福祉関係のNPO法人設立を考えている方へ—

●受付期間/4月1日(木)～30日(金)消印有効

●助成の対象となる団体/社会福祉の分野でNPO法人の設立を計画している団体但し、平成22年度中(所轄庁受付日が、平成22年4月1日～平成23年3月31日)に設立認証申請を行うことが原則。

●助成の対象となる活動/障害者、高齢者を対象とした、主として在宅福祉に関する活動。

●助成の額/1件30万円

●応募方法/応募要項・申込書は、請求者の郵便番号・住所・団体名・担当者名・電話番号・Fax番号を明記し、下記までFaxまた

はハガキで請求するか、ホームページからダウンロード。申請は郵送にて。

●問い合わせ先／損保ジャパン記念財団 社会福祉助成係
160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン本社ビル10階 Tel.03-3349-9570 Fax.03-5322-5257
ホームページ <http://www.sj-foundation.org/>

(財)庭野平和財団 活動助成(前期分)

●受付締切／4月30日(金)必着

●助成の対象となる団体・個人／個人・団体のいずれでも申請できます。(一個人、一団体につき一件の申請に限ります)申請者の国籍、団体の場合の法人格の有無は問いませんが、継続性のあることを原則とします。

●助成の対象となる活動／【1.宗教的精神に基づく社会・平和活動】宗教的精神に基づく社会活動とは、神仏への畏敬の念から発して、広く社会及び個人の生活における物心両面の福祉に寄与することを志向する活動を意味します。具体的には、特定の宗教の枠を越えて展開されている平和のための教育・開発協力・環境保護・人権擁護・高齢化問題への対策等の活動を指します。

【2.地域のエンパワメントを創生する活動】

地域のエンパワメントを創生するために、様々な団体・個人が共に深い精神性・祈りをもって開かれる、集いやワークショップに助成を行います。理論と活動の相乗効果による新しい価値観の創造を期待します。

●助成の額／助成総額1000万円程度。1件あたり上限100万円

●対象事業の期間／前期は平成22年8月1日から1年間

●応募方法／申請書類は下記のホームページからダウンロード。なんらかの事情で、ダウンロードできない場合は、財団へ電話、FaxまたはE-mailにて連絡。申請は郵送にて。

●問い合わせ先／(財)庭野平和財団助成係
166-0022 東京都新宿区新宿1-16-9 シャンピラカテリーナ5階 Tel.03-3226-4371 Fax.03-3226-1835
E-mail npfgrant@npf.or.jp
ホームページ <http://www.npf.or.jp/>

富士フィルム・グリーンファンド助成金

●受付締切／5月17日(月)

●助成の対象となる活動／【活動助成】身近な自然の保全や、自然とのふれあいを積極的に行っていること。

【研究助成】身近な自然環境の保全・活用の促進に関する具体的な研究や、ふれあいの場としての緑地の質的向上を目指した実証研究等を行っていること。

●対象事業の期間／贈呈日より1年。内容によって2年利用することも可能。

●助成の額／助成総額は850万円、助成件数は4件程度。

●応募方法／応募要項はハガキまたはFaxにて下記まで請求

するか、下記のホームページからダウンロード。申請書類は簡易書留等で送付のこと。

●問い合わせ先／公益信託富士フィルム・グリーンファンド事務局 110-8676 東京都台東区下谷3-10-10 (財)自然環境研究センター内 Tel.03-5824-0960 Fax.03-5824-0961 ホームページ <http://www.jwrc.or.jp/>

平成22年度ニッセイ財団 高齢社会助成

【I.実践的研究助成】

●受付締切／6月15日(火)

●助成の対象となる研究／1.高齢社会における地域福祉、まちづくりを探究する実践的研究

2.高齢者の自立・自己実現・社会参加等を探究する実践的研究

3.認知症高齢者に関する予防からケアまでを探究する実践的研究

●助成の額／1件当たり200～250万円程度、新規助成5～8件程度。

●対象事業の期間／平成22年10月から最長2年

【II.先駆的事業助成】

●受付締切／5月31日(月)

●助成の対象となる事業／1.高齢社会における地域福祉、まちづくりを目指す地域を基盤とした先駆的事業

2.高齢者の自立・自己実現・社会参加等を推進する地域社会システムづくりの先駆的事業

3.認知症高齢者に関する予防からケアまでの総合的な先駆的事業

●助成の額／1団体当たり700万円以内、新規助成2～3団体程度

●対象事業の期間／平成22年10月から最長2年半

… … …(以下、両助成共通)

●応募方法／募集要項などはホームページからダウンロード。郵送請求の場合、【I.実践的研究助成】【II.先駆的事業助成】のいずれか希望の場合は送料140円切手を、両方の場合は200円切手を同封して請求。(急ぎの場合は追加して速達料270円切手も同封)。

●問い合わせ先／日本生命高齢社会助成事務局
541-0042 大阪府中央区今橋3丁目1番7号 日生今橋ビル4階 Tel.06-6204-4013
ホームページ <http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/>

おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご留意のうえ、積極的なご活用を期待しています。

(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までにお送りください。

(2)送付はE-mail(ない方はFax)で。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

E-mail center@mienpo.net Fax.059-222-5971

転載を希望される場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOセンター・ワーカースコープ」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

〈広告〉 5

株式会社、社団法人等の法人設立から許認可手続まで

NPO・社会福祉法人設立

事業報告、各種変更届等の作成もお手伝いします。

フリーダイヤル 法 務 よ い よ

0120-406-414

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所L.C内)
三重県津市本町14-18 URL www.e-houmu.info

〈広告〉

なばりNPOセンター

特定非営利活動法人

語り手：伊井野雄（理事長）

行政、企業とNPO・ボラン ティア団体を繋ぐ

……なばりNPOセンター（以下、「NPO
センター」と略）のミッションを教えてください？

まずは、名張市内のNPOやボランティ
アの支援、情報収集や情報発信といった
一般的な中間支援の役割です。

それと各セクターとNPOの橋渡しです。行政や企
業のほか、名張市では地域づくり委員会の活動が盛ん
ですので、地域づくり委員会との協働も考えています。
また、地域のさまざまな団体との協働事業をNPOセ
ンターから企画提案することも考えています。

そして最後、名張市民活動支援センター（以下、「支
援センター」と略）の管理がNPO等に委託されること
になれば、公募に参加することを明らかにしています。
……現在、支援センターの管理は民営ではないので
すか？

名張市から委嘱された人たちで作られた運営委員
会はありますが、基本的には公設公営の施設です。

……NPOセンターの設立と支援センターとの関係
は？

利用者として支援センターを利用するうちに、支援
センターのスタッフであり、現在NPOセンターの理事
でもある末次さんと親しくなりました。支援センター
はセンター長がいなくて、市役所の企画財政部地域
経営室が代行している状態なので、スタッフを指導す
る人がいません。近鉄名張駅近くという立地条件も
いいし、スタッフもいるのに有意義な事業が行われて
いないように私には見えたので、将来的には支援セン
ターの運営を受託することも視野に入れてNPOセン
ターを立ち上げたいと末次さんに相談したところ、理
事として協力していただけることになりました。

……理事や評議員はどのような顔ぶれですか？

私が声をかけたのは「なばり廃食油リサイクルの会」
の吉井さんと、元幼稚園園長の吉永さん。その二人が
周りに声を掛けてくれて、タウン情報誌の元副編集長
や元消防長、子どもとの遊びという分野で活躍してい
る「あそびつくすin東小」の委員長などが集まりました。
また、行政などの事業を受託するには、できたばかり
の団体で経験が無いのでは難しいと思いましたから、
10年以上の活動歴がある（特活）赤目の里山を育てる
会”の理事である吉田さんにも声を掛けて、10人の理
事と監事が揃いました。

評議員は、名張商工会議所の会頭や皇學館大学の
教授、名張近鉄ガス株式会社の社長など、名張の重鎮
が揃った錚々たるメンバーですよ（笑）。実は絶好のタ
イミングで、私が名張市のバイオマスタウン構想検
討協議会の審議員に選ばれたのです。先に挙げ
た評議員の方たちはその協議会のメンバー。NP
Oセンター設立にあたって、皆さんに声を掛け
たら、快く応じていただきました。皆さん、NPO
センターに対して、熱心な考えをお持ちだ
し、市民サイドが公益を担うことに対して
の期待も高いですね。

……その他の会員さんはどのような方
が支えてくださっているのでしょうか？

正会員と賛助会員があり、それぞれ団体会員と個人
会員に分かれています。企業やNPO、個人など合
せて38となっています。

企業へ事業提案

……協働という相手は行政と考えがちですが、地
域づくり委員会や企業との協働にも力を入れてお
れるそうですね。

名張では平成7年度から12年度までの間に、市内
を14の地域に分けて「まちづくり協議会」というのが組
織され、地域の個性を活かしたまちづくりを行ってい
ました。現在は、「地域づくり委員会」という名称に変
わりました。地域の大きさはだいたい、小学校区くらい。
それぞれに予算を分配し、その予算で地域づくりを担
うという方式です。全国からも、たくさんの問い合わせ
があるそうです。NPOセンターを立ち上げた時に、こ
の活動とNPOをドッキングさせることも役割だと、理
事みんなで議論しました。地域づくり委員会からNP
Oを見ると、未だに変な誤解があります。例えば「好き
なことをやっているだけ」とか、「事業ということはお金
を稼いでいる。儲けている」みたいなね。NPOセン
ターが地域づくり委員会と懇意になり、互いに支え合
うことで、誤解も解いていきたいです。

……具体的な協働のアイデアはありますか？

NPOセンターではありませんが、“赤目の里山を育
てる会”が、桔梗が丘地域の地域づくり委員会と協働
を行っている例があります。

“赤目の里山を育てる会”では、木材を利用して木質
ペレットを作り、それを燃料に使っています。一方、地
域づくり委員会では市の委託を受けて、街路樹の伐採
を行っているのですが、伐採した木材の処理に費用が
かかることに悩んでいました。そこで、“赤目の里山を
育てる会”が一般廃棄物再生利用業者として登録を
して、伐採した木材を引き取れるようにしました。互い
の利益が上手くマッチングしたわけです。この出会
いは偶然でしたが、NPOセンターでは意識的にマッ
チングを取り持ちたいですね。

……他の企業との協働についてはいかがですか？

NPOセンターでは名張市内の八幡工業団地にあ
る各企業へ機会を見つけて順次訪問しています。ほ
とんどの企業は5分くらいで話が終わるのですが、ノー
ベル製菓を訪れた時、八幡地区のゲートボール大会な
どで、自社製品のキャンデーを配っているという話を
聞きました。そこから、NPOセンターと企業が一緒
になって公益を実現することができるのではないかと考
え、キャンデーを仲介にすることでノーベル製菓の知
名度を高める事業を提案しました。

簡単に言うと、キャンデーを100キロくださいとい
うことです（笑）。

伊賀地方のNPOやボランティアが事業を行う時
に、NPOセンターに申請してもらい、キャンデーを配
布します。それをイベント等を盛り上げるために使っ
てもらうことで、ノーベル製菓の知名度や親近感を高
めようという方法です。

また、100キロとは別に50キロもらう約束もしま
した（笑）。こちらは、伊賀地域内外で災害が起こった時
に、救援物資として提供します。

調印式はノーベル製菓名張工場会議室で行いました。契約書を取り交わし、4月1日から1年間、「キャンペー」を使った地域貢献の仕事に取り組むことになりました。新聞記事で大きく取り上げられましたが、その記事を見た他の企業も「うちも何かできないかな」と、少しでも思ってくれればいいですね。災害での提供は県内の方でもできますから、センターにお問い合わせください。

地道にこういう活動を続けて、数年後に「言いにくいんですけど、寄付お願いできませんか?」と切り出せば、「NPOセンターは頑張ってるから、10万円あげるわ」ってならないかなあ。それも戦略でしょ(笑)。

名張市民と地域に、企業がどうやって貢献したと言えるのか。それもお金のやり取りではなく、商品や企業人をニーズと合わせていくことは、私たちの課題ですね。今後は100企業を目指して、企業と対等に、わかりやすい事業推進ができるような中間支援組織になっていきたいですね。

人材づくり・資金づくり

……中間支援団体としては、人材育成も大きな要素でしょう?

名張市は大阪に通勤している人たちのベッドタウンです。人材育成を考えた時にキーワードになるのは、団塊の世代など、会社をリタイアしたシニアです。これは重要な社会資源ですから、これをどう活用するのは大切です。

私は、地域づくり委員会と地域のNPO・ボランティア団体の結びつきを強めることで、シニアの活動を活発にできるのではないかと考えています。

……シニア向けの市民活動講座などを開催するのですか?

NPOセンターではなく、別のNPO法人としてシニア世代の講座を開催しましたが、人が集まりませんね。では「個別にグループを紹介しましょうか」といっても、60歳をすぎて、社会から一度離れたようなおじさんたちが、再び社会に関わるというのは難しいものです。何か活動はしたいけれど、「おじさんが頭を下げて行くほどのことじゃないよな。頭下げるのは嫌だな」って思っている人、いっぱいいると思います。そこでNPOセンターの出番です。NPOセンターって名前もちょっとお役所っぽいし、中間支援ですから、人と団体をつなげることもできるのではと、私は期待しています。NPOセンターの紹介があれば、団体へのアプローチもしやすいでしょう。

シニアという社会資源を復活させることは、少子化の対策の一つになるだろうし、少子化が進んでいる名張市はそうしないと生きていけないでしょうね。

……シニアを引き込むノウハウは?

いろいろなノウハウを持った人たちが理事として集まっていますから、わかりやすい形で課題を出せば、新しいノウハウが集まる要素がNPOセンターにはあります。

また、新しい活動団体を生み出し、その過渡期を支援することもできるかもしれません。例えば、伊賀地方は外国から来ている労働者が多いですから、彼らのサポートをする活動を生み出すきっかけづくりをセン



ノーベル製菓との調印式

ターが担うとかね。

……若い世代との結びつきはありますか?

私たちは若者にノウハウを提供したいと思っていますが、若者たちがどこにいるのかわかりません。これは難しい問題ですよ。若者がNPOを立ち上げて頑張っているという話、あまり聞こえてきませんよね。今のところ人材面ではNPOセンターには明るい展望はありません。シニアや専業主婦ぐらいでしょうか。若者も含めて、これらの人々を社会に連れ出して、育てていくことも中間支援の大きな仕事と思っています。

……資金面では、どのような工夫をされていますか?

法人設立の時に大々的に祝賀会を行いました。名張市長も最初から最後まで残ってくれましたし、企業の代表から地域のおじさんまで、さまざまな立場の方が120人も集まってくれました。たくさんの人に、「いろいろな人が集まった画期的なパーティでしたね」と言われました。これはNPOセンターが何の利害関係もない団体だからだと思います。

この「人の繋がり」を上手く利用すれば、面白い可能性が出てくると思いますし、資金集めのパーティもできるかもしれませんね。

……政治家みたいですね。

中間支援団体が資金集めのパーティをしてもいいでしょ(笑)。情報提供の場であり、飲み会でもあるって面白くないですか?一杯飲んで、みんなと普段できない話ができれば、会費5000円ぐらいなら安いものだと思いますよ。

中間支援団体が資金面で成立するには、多くの人のからの支援があることに尽きると私は思います。講座や講演開催だけでは、運営できませんよ。多くの活動を行うなかで、会費や寄付というありがたい浄財を寄せてもらう以外、中間支援団体が成立する道はないでしょう。そういう状況も踏まえて、きちんと組織を確立していきたいです。

【データ】

三重県名張市上三谷268番地1
Tel.0595-64-0051
Fax.0595-63-4314
E-mail office@akame-satoyama.org
ホームページ <http://www.geocities.jp/nabarinpoecenter/>
●代表者 伊井野 雄二
●団体設立年月日 2009年8月26日
●NPO法人化年月日 2009年11月18日
●会員数 38個人団体
●会費 【正会員】団体5000円・個人3000円
【賛助会員】団体10000円・個人5000円

名張市総合防災訓練に参加

名張市民と地域に、企業がどうやって貢献したと言えるのか。それもお金のやり取りではなく、商品や企業人をニーズと合わせていくことは、私たちの課題ですね。

伊井野 雄二

ひろげる・つなぐ・かえる

みなさんに一緒に考えていただきたい課題をNPOの視点で取り上げます。

まずは自己評価から

先に戦略の重要性を述べましたが、戦略を立てるには、事前に自らの組織やミッションに基づいた事業や計画を行っているかなど、内部で十分、検討することが大切です。

組織内で話し合う手がかりとなるのが、非営利組織の自己評価手法として経営学者P.F.ドラッカーの示した5つの質問が有名です。「われわれの使命は何か?」「われわれの顧客は誰か?」「顧客は何を価値あるものとするのか?」「われわれの成果は何か?」「われわれの計画は何か?」の5つです。

また、NPO法人コミュニティ・シンクタンク「評価みえ」がweb上で公開・提供している「事業評価システム」「組織評価システム」「イベント評価システム」を評価の具体的なツールとして利用できます。

NPOが評価を行わなければならない必要性は、以下の4つが考えられます。

- ①説明責任:市民活動団体・NPOという存在を支えるシステムに応える義務があります。労力やお金、モノ、場所、情報などの資源を提供してくれる人たち(市民、企業、助成財団、自治体等)への報告は礼儀です。
- ②事業効率の改善:多くのNPOでは人材が少なく、お金も足りないので、いかに効率的に公益にかかわる活動ができるかを考えなければなりません。
- ③客観性:自分がかかわった事業だからといって、過信したり自己満足に陥らないで、常に冷静に謙虚さを忘れないで客観的にみることが大切です。
- ④学習効果:仲間内で同一の評価システムを使って事業評価や組織評価を行うと、評価の基準が頭に入り、共通のモノサシができます。その結果、論点が明確になってコミュニケーションがはかれることにつながります。

「評価」というと敬遠しがちですが、まずは自分自身が行った事業や組織について評価を行う、自己評価から始めてみてはいかがでしょうか。

市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学/(有)デザインオフィス萩野 ●桑名市●桑名市市民活動センター ●いなべ市●いなべ市市民活動センター ●東員町●とういんボランティア市民活動センター ●四日市市●四日市市市民活動センター/みえチャレンジプラザ/四日市大学 ●亀山市●亀山市市民協働センター ●鈴鹿市●市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 ●松阪市●松阪市市民活動センター/三重中京大学 ●伊勢市●いせ市民活動センター/皇學館大学 ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●志摩市●志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター ●名張市●名張市市民活動支援センター/エコリソート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/皇學館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター ●伊賀市●伊賀市市民活動支援センター/ウイリアム・テルス アップル まちづくりセンター/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/上野青年会議所 ●尾鷲市●東紀州コミュニティデザインセンター ●明和町●めいわ市民活動サポートセンター ●南伊勢町●南伊勢町町民文化会館 ●紀宝町●紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】

県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】

百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/メディカル

一光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野]) / 三重県米町庁舎(情報公開窓口) / 三重県総合医療センター / 三重県立一志病院 / 三重県立志摩病院 / 三重県立こころの医療センター / 三重県立こころの健康センター / 斎宮歴史博物館 / 三重県立博物館 / 三重県立図書館 / 三重県生涯学習センター / 三重県男女共同参画センター「フレンティみえ」 / 三重県人権センター / 三重県身体障害者総合福祉センター / 三重県環境学習情報センター / 三重県鳥羽パート情報センター / 三重県立熊野古道センター / 各市町役場

協賛

この市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

東海ろうさん
健全・安心・貢献

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連

270 PRINTED WITH SOY INK 古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。